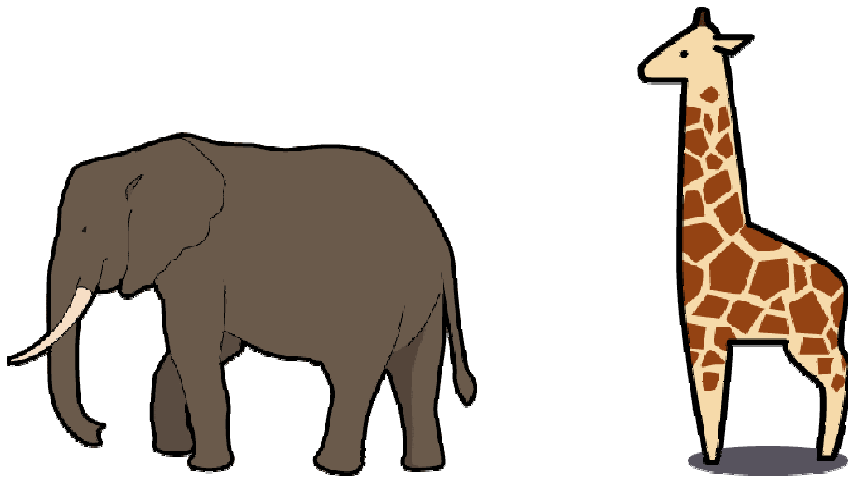


地球温暖化について

近年、人々の暮らしは飛躍的に豊かになり、様々な事で便利に事を済ませて生活をする事が出来るようになりました。その生活環境の変化が地球環境に対して様々な影響を及ぼしています。

環境問題の話になると、必ず出てくるのが地球温暖化という言葉です。その要因も多種多様にあります。



昔、二酸化炭素は、動植物が呼吸で出す量と植物が光合成で吸収する量がほとんど同じだったので増えることはありませんでした。

しかし産業革命以降になると、産業や交通の発達によって、工場や発電所、自動車から、二酸化炭素を含んだ排気ガスがたくさん出るようになりました。

この二酸化炭素は、地上から放射する赤外線のためこんで、地球全体を温室のようにしてしまいます。

このことから、この現象を温室効果といいます。

こうしてこの100年で、二酸化炭素の量は1.3倍になってしまいました。

こうした二酸化炭素などの温暖化をもたらす気体を温室効果ガスといい、二酸化炭素以外にメタンや亜硫酸窒素などがあります。

これらの気体の排出量を抑えることが、温暖化の課題になっています

考 ここで温暖化の主な影響を考えてみましょう 考

上昇する気温 温かくなる海水 解けてゆく氷河 上昇する海面

頻発する森林火災 長引く異常干ばつ 縮小する湖 枯れる溪流

増える降水量 早まる春の訪れ 長引く真夏日 緩む冬の寒さ

白化が進むサンゴ礁 侵食が進む海岸線 海に沈んでしまう島

早く咲きたがる花 移り変わる動物の生息地 時期を忘れた渡り鳥

少し考えただけでも、こんなに身近に多くの変化が起こっていることが

わかります。その変化のスピードはゆるやかではありますが、

とても深刻な状況です



どんどん平均温度が上がり続けています。

今、世界の年平均気温は100年につき、だいたい0.6度の割合で上昇しています。過去100年間では、0.3～0.6度上昇しています。過去のデータから推測すると、100年後の平均気温は現在よりも約2度高くなると予想されています。

海面上昇

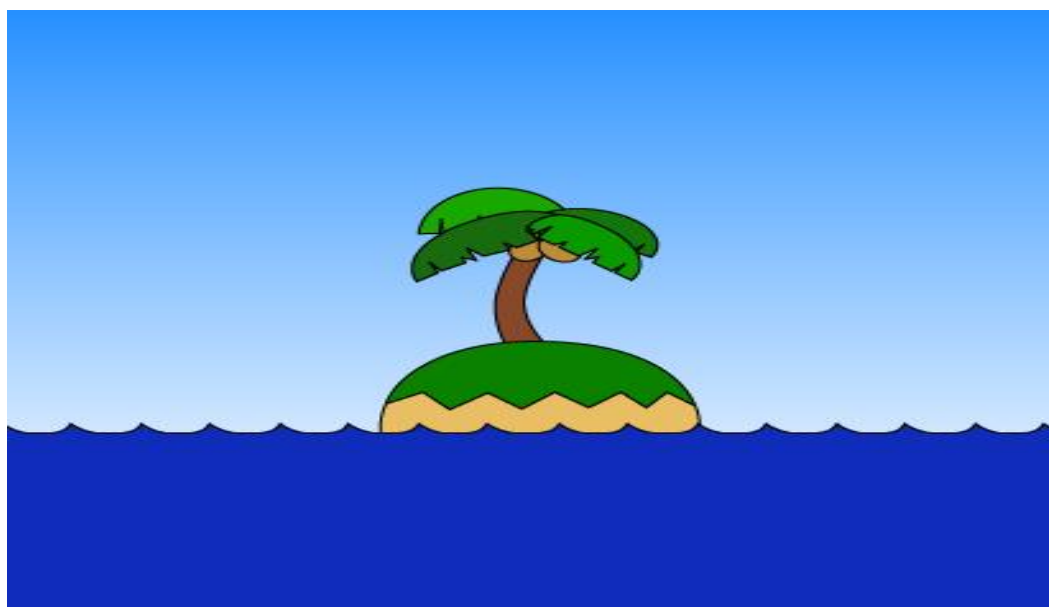
温暖化によって、北極などの氷が溶けて海面が上昇して島が沈んでしまったり、ペンギンなどの北極や南極に住む動物たちのすみかが少なくなってきたりしている。また、台風や地震の時に洪水などの危険性が増すと考えられます。

生態系への影響

気候変化により、植物の生育が妨げられ、農業生産力が低下するおそれがあります。また、漁業や畜産業への影響も心配されます。

水資源への影響

乾燥地ではさらに干ばつが進み砂漠化を招くおそれがあります。日本でも積雪の減少などにより、4月から6月に水不足が生じたりします。



未来の子供たちや動植物のためにも、確実に、この美しい住み心地のよい地球環境を引き継いでいきたいものです。

そのためには、とても小さな一歩かもしれませんが、今を生きている私たち一人一人が環境にやさしい取り組みを進めることが必要です。

ではどのような事をすればいいのでしょうか？

身近なところで見てみましょう。

もっとも地球温暖化に、影響しているものとしてCO₂が挙げられるようです。

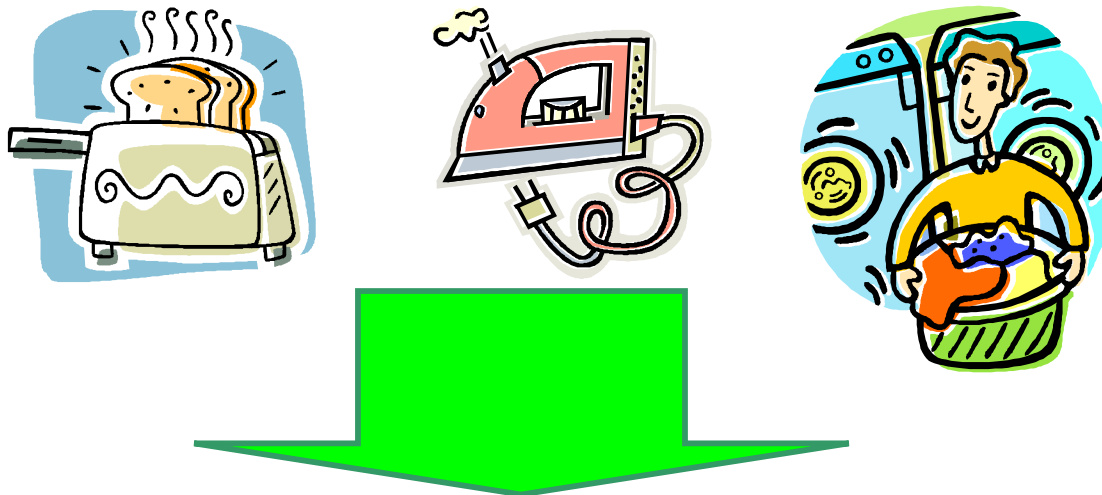
そこで、CO₂についてすこし調べてみると・・・、私たちの生活にも、密接に関係していることがわかりました。

生活の中で、発生しているCO₂を調べて見ると・・・

電気の使用・車の使用・色々な製品の使用（加工・製造の工程などで）と、日頃何気なく行っていることで、地球温暖化に影響していることがわかりました。

これらが、どのように地球温暖化に影響しているのか見てみると・・・

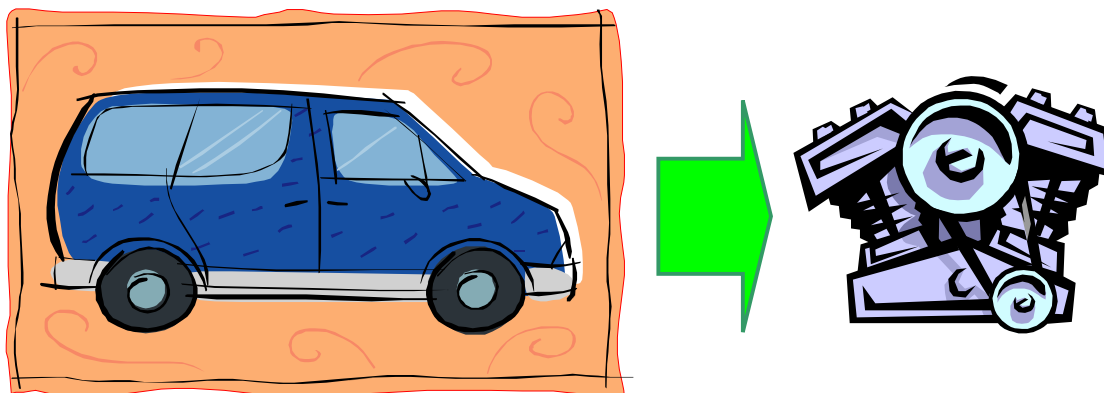
電気の使用を 見てみると・・・
家電製品の使用



電力会社が、電力を 作るために（火力・原子力）CO₂を排出している。



車の使用



車を使用すると燃料消費に伴い CO₂が排出されます。

色々な製品の使用



製品使用(電力使用)もありますが・・・、やはり製造するのにも、電力が

での CO2 の排
出りこれらの物
を使われているので

- ①家庭での電気の消費量を減らそう②節水しよう
- ③テレビを見る時間を1日1時間減らそう& 寝る前に元電もきる
- ④食器を洗う水温を40度から30度にしよう
- ⑤1日3分間、水を出しっぱなしをやめよう⑥ unnecessary アイドリング⑦冷蔵庫は開けたら、閉めよう⑧身の回りに緑を育てよう
- ⑨車よりも、電車やバスを利用しよう

こんなことでいいのか・・・と思うかもしれませんが

こうしたことの積み重ねが、**地球温暖化を防ぐ**のです。